リハビリ　広報だより

第 33 号　令和５年８月１日発行
（リハビリテーション科　広報部）

梅雨明けし、夏本番となりました。蒸し暑い毎日が続いていますが、水分補給等で体調管理をしながら、一緒に夏を乗り切っていきましょう！

回復期病棟　壁画　作業活動（OT）

回復期リハビリテーション病棟（Ａ館２階 55 床）では、回復期と言われる時期にリハビリテーションを集中的に行い、身体機能の改善・能力の向上・生活の再構築を獲得するため、毎日最大３時間程度のリハビリを行います。入院患者様は、再び自宅での生活を送るため・社会復帰を目指すため・これから先も自分らしく生きるために、皆様がリハビリに真剣に向き合って入院生活を送っています。

筋力訓練や歩行練習だけでなく、作品作りや手工芸等をリハビリの一環として行う事を見た事があるかと思います。それは何の為に行っているかわかりますか？指先のリハビリ、座っている時間を延ばす、暇つぶし…どれも正解！ただし、もっと奥深い目的もあります！

様々な作業や生活動作を通じ、体と心の回復を図る事が“作業療法”です。手先の活動から粗大な全身活動までを作業活動に取り入れつつ難易度を設定し、楽しみながら自然に、目的の身体動作を引き出し、日常生活動作へ繋げます。また、作業を通して主体的に参加し自己認識を高めたり、完成へ向けた計画的な活動や余暇時間の充実により生活リズムの獲得や精神的な安定・意欲も引き出します。“手工芸”が“トイレ動作自立”にも繋がっていく可能性があるのです！

回復期病棟では季節毎に病棟内のリハスペースの壁を使い、皆で取り組む壁画作品制作を行っています。作業療法士が計画し、その後は患者様と一緒にリハビリで少しずつ行います。様々な身体状況の患者様が入院されている為、皆さんが参加し易い様に工程や難易度について工夫し、季節感や地元感を出せる様意識しています。

お花紙をねじった桜⇧木は右麻痺の患者様が左手で大きく塗りました。

病院近くのアジサイで有名なさざえ堂をイメージして⇩

トイレットペーパー芯の竹⇧輪飾り吹き流しも作りました。

役職者コラム vol.7　【理学療法士　主任　立山 和裕】

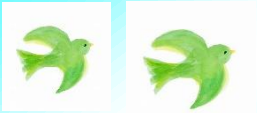
皆さんこんにちは。理学療法士の立山和裕と申します。これまで急性期病棟を中心に関わらせて頂き、７年ほど前から５階病棟でがんのリハビリテーションへ従事しています。その傍ら、毎年就職活動をされている学生さんへのリクルート活動等も行わせて頂いております。気付けば当院で 10 年勤務し今年で 11 年目を迎えることが出来ました。

私が関わらせて頂いている方々の中には、がんとの共存をされている方が多くいらっしゃいます。その経過で手術・化学療法・緩和的治療をしながらリハビリを実施しています。時には体調やご気分、身体機能の浮き沈みが出る事もあります。ですが、もう一度その方が、「やりたいこと」を実現できるように後押しをさせて頂ければ、と日々医師・看護師・ソーシャルワーカーと連携を取りながら業務をさせて頂いています。また、私たちの仕事を後輩に繋げていくために毎年リクルート活動を継続しています。近隣校での活動はもちろんの事、コロナ禍を契機に発展した WEB 会議システムなどを活用し、地方各地の養成校での就職説明会へも参加させて頂いており、毎年多くの見学・入職に繋がっております。

今後も担っている分野を磨き、病院・リハビリテーション科が発展して行けるよう活動し地域の方々へのお力に少しでもなれるよう努力して行きます。

リハビリ　クラーク紹介

７月１日より新しくクラークが１名入職しました。
どうぞ宜しくお願い致します。



【氏名】高沢　麻美（たかざわ　あさみ）
【趣味】旅行、買い物
【チャームポイント】体力には自信があります！
【一言】まだまだ勉強の毎日ですが、迅速・丁寧、そして細やかな配慮と皆さまに安心して頂けるような関わりを心掛け、日々仕事に取り組んで参りたいと思いますので宜しくお願い致します。

イムス太田中央総合病院　リハビリテーション科
〒373-8513 群馬県太田市東今泉町 875-1　TEL0276-37-2378(代)